

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 北九州中津口教室

保護者等数(児童数)17(19) 回収数 17 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17				・直接活動を見ることはあまりないが、写真でよくわかります。	お子様が活動しやすい環境を維持向上していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16			1	・いつも丁寧に関わっていただいています。	適宜紹介していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15			2	・すぐに色々な物の場所を覚えていました。	引き続きお子様にとってわかりやすい環境を維持向上していきます。 また、個々に合わせた視覚支援をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17					毎日の清掃、消毒を徹底しております。 活動に応じてテーブルを移動するなど、環境を整えています。
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17				・目標に合わせて子どもと活動にも取り組んで、送迎時にも様子が聞ける。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			2	・ガイドラインの内容を熟知していないのでわかりませんが、子どもに必要で適切な支援をしていただいていると思います。	お子様の成長にはお子様同士の力が一番の糧になると考えております。引き続き、お子様や保護者様のニーズを中心に支援計画内容を考案し、安心してご利用いただけるように努力してまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16			1		プログラムのアイデアを職員間で出し合い作成しております。 季節のプログラムも取り入れております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	1	6	・コロナの影響もあるかと思うので、交流が行われているのかわかりません。	今年度はあまり機会を設けられなかったため、来年度はそういったイベントを企画していきたいと思っております。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					契約時に説明させていただいております。また、ご意見や質問等はいつでも受け付けております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16			1		お子様に合った支援計画内容を考案するために、保護者様にも協力いただき感謝しております。今後も、その時のお子様 に合った計画案内と支援を提供していきたいと思っております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	2	1	3	・両親が共働きなので機会がなかなかありません。	来年度は、親子イベントなどを計画したいと考えております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1			・いつも分かりやすく伝えてくれています。	デロボを導入し、その日のお子様の様子を写真付きでお伝えすることができるようになりました。 保護者様からもご自宅の様子などを教えていただきながら、今後も共通理解を図っていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	2		・面談等はないが、送迎時に相談することができる。 いつも細かい様子の伝達ありがとうございます。	送迎時にお話する機会を設け、何かあればお伝えしております。 保護者様発信での面談の機会も検討しております。よろしく 願いました。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	2	4	・父母の会や保護者会に参加したことはありません。	親子で参加できるイベントや、保護者会などの開催を計画 していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15		1	1		連絡帳において、保護者様と連携することができ、支援に役 立てさせていただいております。送迎時にも、お子様の様子 についてお話をさせていただいています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1		1	・デロボが導入されており、よくわかります。	デロボを導入し、その日のお子様の様子を写真付きでお伝 えすることができるようになりました。 また、公式LINEを活用し、随時お知らせを行っております。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16			1	・分かりませんが、注意してくれていると思います。	個人情報の管理を徹底して行っております。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1		4	・発生を想定した訓練が実施されているかどうかは存じ上げません。	マニュアルにつきましては、事務室に掲示しておりますのでい つでもご覧いただけます。今後も、防犯や感染症についての 研修や訓練を行ってまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			10		教室にて、避難訓練を行っております。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17				・楽しそうに行ってくれるのでとても助かります。 ・帰ってきてからも元気いっぱいうれしいです。 ・こぼんがない日や体調不良の休みの時も行きたいと伝えて きます。 ・こぼんの近くを通るだけで嬉しくなっているみたいです！ ・毎日「今日はこぼん？」と楽しみにしています。 ・とても楽しく通っています。 ・最近はお家を出る前に「こぼん！」と笑顔で言うてから出か けています。	お子様が見てくれる笑顔や成長した姿に、職員一同感謝し ております。お子様が楽しんで通うことができ、成長を感じら れるよう、プログラムなどを充実させてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	17				・いつも丁寧に関わってくださり感謝しております。 おかげで心身ともに発達成長が大きく見られ、毎日が楽し いです！！ いつもありがとうございます。 ・とても満足しています。 ・子どもの成長が見てわかり、保護者にも連絡帳などで細 かく報告してくださり、助かっています。	皆様のご意見に感謝するばかりです。今後も楽しみながら成 長できる支援内容を考え、実施していきたいと思っております。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 北九州中津口教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		支援の内容によっては児童の利用児が放デイの教室で一線に学習することもある。	活動内容によっては、間仕切りなどを使用し、活動しやすいよう配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	10		お子様の安全を確保できるよう、職員配置をしております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		視覚による情報を掲示している。視覚支援により、トイレの場所や自分の棚が分かるようにしている。	適宜目隠し等を活用し、集中できる空間づくりも行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		毎日清掃と消毒をし、清潔な環境を提供しております。	今後も引き続き、毎日の清掃と消毒を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		時短のパートさんには、個別に聞き取りを行うなどしている。	職員全員が意見を言えるような風通しのよい職場環境に努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		アンケートで頂くご意見や、連絡帳、送迎時を利用して、保護者の方の要望やご意見を伺い、職員間での情報共有をしています。	連絡帳や送迎時を利用して、保護者とコミュニケーションを図り、意向等を把握できるように努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		事業所内に掲示しており、いつでも閲覧できるようにしております。	ホームページを活用し、幅広い方々に事業所の現状を知っていただきたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		事業所内の研修や勉強会を行っている。	研修を受ける機会をいただけていない職員もいる為、今年度は受講を希望します。外部の研修にも参加し、研修できるよう日程を組みたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		アセスメントツールや保護者への聞き取りを行っている。関係機関にも聞き取りを行い、計画作成に役立てています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		計画の見直しの際、アセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		個別支援についての会議を行い、周知に努めることができた。	引き続き、職員間での周知徹底を行い、支援に偏りが出ないようにしていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		個々が意見を出し合い決定している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		個々が意見を出し合い決定している。	保護者の方の要望も取り入れながら、まずは子供が楽しく遊べる、学べるプログラムを取り入れていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		個別支援内容を決定し、集団プログラムの中でも、個別に設定した課題に取り組みできるようにしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	送迎担当についてはボードに記載し、確認している。主に前日の終りで情報共有を行い、翌日の支援についても話し合っている。時短のパートさんには当日伝えることもある。	職員間で情報を受け取るタイミングに差があるため、連絡ツールを使用し、報連相を徹底していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	10		グループLINEや用紙で情報を共有している。話し合いの内容は、出席出来ない職員にも周知するよう改善されてきている。	全職員での振り返りが行えない現状にあるので、一日の内容を振り返る機会を設け、共有できるようにしていきます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	デイロビに記載した支援内容については、全職員が共有できるようになった。その日の共有事項をグループLINEで共有している。	口頭での共有、改善に留まることがあり、時短勤務の職員に届くまで時差があるため、グループLINEの活用を徹底する。	
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		毎回アセスメントツールを使用し、保護者の方の要望等を伺っています。		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		必要に応じて、児発管以外の職員も参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1	市の機関や関係機関と連携し、会議等への参加や支援内容について共通理解を図り、支援を行っています。会議に話した内容は用紙にまとめ、職員に周知しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2		該当者なし	該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2		該当者なし	該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		契約時の相談支援を中心に、園との連携を行い、お子様が園に通園できる体制を確立し、共有するよう努めています。	お子様の日々の変化を共有できていないタイミングもあるため、保護者の方や相談支援と協力して理解を深めていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		契約時に相談支援内容や様子については保護者の方に伝えており、必要があれば関係機関と連携を図れることを伝えていきます。小学校就学時に依頼があった場合には、事業所での様子をお伝えし、移行支援を行っています。	

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2		療育センターの職員派遣研修の機会を設けたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	6		来年度は交流できる機会を計画していきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		デイロボへの記載に加えて、送迎時に情報共有をはかっている。	デイロボを導入し、写真付きでお子様の様子を共有でき、保護者の方からは伝わりやすいとお声をいただいております。引き続き、保護者の方とお子様の様子を伝え合い、共通理解を図っていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時にお伝えしたうえで、保護者の方より質問等があった場合には随時お伝えをしています。	分かりにくい点もあるため、繰り返しお伝えしていきます。全職員が対応できるよう、知識向上にも努めていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		紙面にて説明を行い、意見や質問ができる機会を設けています。	状況により保護者の方のニーズが変わることがあるため、その都度対応できるようにしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		面談や電話にて行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	1	保護者を招いた研修を開催した。今年度は開催したものの、日程の変更により参加者が少なかったため、次年度はもっと早く周知し、参加者が増えるようにしたい。	保護者を招く研修会、交流会を年間行事として早めに設定できればと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10		「何かあればいつでもお聞きします」と全職員で随時お声がけするように努めています。また、その場で返答せずに必ず持ち帰り、可能な限り当日中に返答するように努めています。	保護者の方からの意見等があった場合には、必ず持ち帰り、事業所全体で取り組むよう努めてまいります。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2	SNSやプログラムにて行事予定などをお伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			十分注意して取り扱いをしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		お子様や保護者の方に合わせた方法を選択し、実施するよう心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	4		来年度は交流できる機会を計画していきたいと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	消防署の協力を得て、訓練を実施した。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		消防署の協力を得て、訓練を実施した。年1回消防署と連携し、避難訓練を行っている。	今後も定期的を実施する予定です。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		契約時にアセスメント等で確認しています。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		指示書ではなく、保護者の方より情報をいただいています。	アレルギーの子が新しく来たら、一覧表を作った方がよいと感じる。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		振り返りの際にヒヤリハットの報告を行い、事故に繋がらないように対策を確認しています。ヒヤリハットをまとめて、職員間で共有しています。	ヒヤリハットの多い事項に関しては、環境を改善するなど対策を行っていきます。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	本部の研修とは別に事業所内にて研修を行い、全職員に意見を求めるようにしています。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1		該当するお子様はいませんが、今後の場合は、全職員で会議を行い、子どもや保護者の方に十分な説明の上で了解を得て計画に記載します。	